

新たな「心得」 本日からスタート

これまで長い時間をかけて、生徒主体、全校体制で取り組んできた「学校生活の心得」見直しの取組が一つの区切りを迎えました。本日の生徒朝会で生徒会本部からの説明や呼びかけがあり、いよいよ新たな「心得」での学校生活がスタートしました。

新「学校生活の心得」のポイント

- 「まもるの掟」をベースに、自分たちの学校生活に必要なきまりを検討。
- 原案に対する全校生徒や保護者などの意見も参考に、修正を加えた。
- 具体的な規定は最小限に。具体的に規定されていないことは、「大中学生としてのあるべき姿」「学校が学びの場であること」をもとに考える。

今回の改定により、現行の心得から内容・量ともに大幅な削減が図られました。規定する必要のないものを削除することで、大中学生全員にとって安心・安全で、充実した学校生活のためのよりどころとなる、素晴らしい「心得」になりました。



「心得」に込めた思いを伝え、それを真剣に受け止める

従来の『「心得」に記載されているから守る』という姿勢ではなく、「どうすべきかを自分で考え、責任をもって判断する」という姿勢が問われることとなりますが、自分には、その判断を生徒の皆さんに預けても大丈夫だという確信があります。

自主・自律、自治を体現する「心得」の作成に向けて粘り強く取り組んでくれた生徒会本部をはじめとする全校生徒の皆さんに感謝し、その努力に称賛の拍手を送ります。

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和5年2月14日

第28号

学校生活の心得【改定版】

はじめに

私たちは、平成29年度生徒会が策定した「まもるの掟」を継承します。そして、自分たちで策定した「学校生活の心得」を守り、つねに大形中学校の生徒としての誇りと自覚をもって行動します。

なお、ここに記した心得は規定すべき最小限のものです。記載のない内容については、学校生活での「大中学生としてあるべき姿」を考え、一人一人が責任をもって適切に判断します。

【まもるの掟】

- 一 物を大切にします
- 二 「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に伝えます
- 三 自分から明るいあいさつをします
- 四 みんなで協力し合います
- 五 まじめに掃除します

1 登下校時間 登校 8:20 までに玄関に入る。
下校 帰りの会終了後、用がない生徒はすみやかに帰宅する。

2 服装・頭髪等 整った身だしなみとなるよう心掛ける。

(1) 服装

① 制服

- a 黒詰襟の学生服（日被連標準認証マーク付き）と黒色のスラックスの組合せ、またはブレザーとスカートまたはスラックス（いずれも学校指定）の組合せとする。
- b 白色のワイシャツ、ブラウスまたは開襟シャツを着用する。ブラウスは角襟のものとする。
- c ベルトは、装飾のないものを着用する。
- d ブレザー着用時は、学年カラーのリボン进行を結ぶ。

② その他

- a 軽装として、ワイシャツ、ブラウス、開襟シャツまたは学校指定のポロシャツで過ごすもよい。
- b 全校が集まる朝会や事前に指示がある場合を除き、

髪型の具体的な規定なし！
「大中学生としてあるべき姿」から判断！

(2) 頭髪

(3) その他

3 通学カバン

4 履物

5 登下校

6 その他

登校したら体育着に着替えてもよい。

- c 体育着は学校指定のものを着用する。
- d 防寒用の衣類を着用する場合は、装飾のないものとし、制服または体育着の内側に着用する。
- e 名札は左胸につける（ポロシャツ着用時は不要）。
- f 儀式的行事で着用する靴下については、白色、黒色または紺色のものとする。黒タイツを着用してもよい。
- a 衛生的で、学習・活動に適した髪型とする。
- b 染色、脱色、パーマをしない。ただし、特別な事情がある場合は、先生に相談する。
- a 化粧はしない。また、香水は使わない。
- b 制汗剤が必要な場合は、無香料のものを使う。

学校指定のスクール用背負いカバンとする。

室内履き（学校指定）は、学年カラーの紐を使用する。屋外履きは、運動に適したものとする。

- a 交通ルールとマナーを守り、安全に留意する。
- b 自転車通学については、別に定めたきまりに従う。

- a 持ち物には記名する。
- b 学習に不要なものや、必要以外のお金は持ってこない。
- c 携帯電話は持ってこない。特別な事情がある場合、先生に承諾を得る。
- d 水筒の中身は水、お茶、スポーツドリンクとする。ペットボトルにはカバーを付け、誰のものか分かるようにする。
- e 校具・校舎を使用した際は後始末をきちんとする。

* この「学校生活の心得」は、生徒の発議により必要に応じて見直しを行うものとする。

* 見直しが必要かどうかについては、生徒会本部および評議員会で協議し決定する。

ジェンダーに配慮し、男女の区別なし！